

## 公立保育園の正規保育士を増員すべきでは 「来年度の体制を担当部と相談する」

岡寄 郁子 議員

議員 全国的に保育士不足が問題になっていて、戸田市の公立保育園でも、延長保育を実施するための臨時保育士が不足し、いまだに配置できないと聞けが、現在の状況は。

こども青少年部長 国基準は上回っているが、時差勤務維持のための臨時保育士が、4



議員 全月当初に8園全てで配置できなかった。現在は4園が未配置。短時間保育士の配置や、時間外保育アシスタントの勤務時間延長などで補完している。

議員 今後は正規保育士の採用を増やすべきではないか。

総務部長 上戸田保育園が今年度末で閉園となり、正規保育士10人が各園に配置される。

来年度の体制は担当部と相談したい。

民間保育園も支援を

議員 民間も深刻な保育士不足だ。支援を。

こども青少年部長 民間保育園園長会議に保育士確保を議題として提案する。保育士の人材バンクも研究する。



▶みんなと一緒に楽しい給食 (新曽保育園)

その他の質問

Q 2000年の建築基準法改定以前の建物も、約8%に耐震に問題があると言われる。耐震改修・診断助成の対象に加えては、

A まだ81年以前の建物が残っており、まずは、こちらの対応を優先したい。したがって、2000年以前の補助対象枠の拡大は、今後、研究していく。

## 県営戸田公園

### 再整備事業の抜本的な見直しを 「見直しは行わない」

酒井 郁郎 議員

議員 戸田市政策研究所の研究報告書として

つぶやき  
ズバツと見直しを！



発表された県営戸田公園の整備案について、抜本的な見直しを提言する。理由は、①計画



▶整備の提言があった県営戸田公園内の高台広場周辺

定が随所に見られる③ニーズ調査を行わずに立案されており、整備の必要性に疑問(例えば全日本選手権等の主催者である日本ボート協会は、酒井の質問に「必要を感じない」と回答)④ポートコース周辺全体の整備計画との調和を図った形跡がない⑤再整備に対する要望がなく、市民からの要望が多いポートコースの周回歩道やアクセス路整備と比べて優

先順位が低いと思われる⑥専門家の知見も見当たらない。

計画は3億〜4億円を投じて、観覧席の改修や増設、飲食店の設置などを行う内容。広大な土地と多額の整備費用を使いながら、小ざれいなばかりで来園者がほとんどない(戸田橋親水公園のような)場所になりかねない。今後、何十年にもわたって維持・管理していく立場である一市

民として憂慮する。

政策秘書室長 調査や市民参加は事業化段階で検討する。提言の抜本的な見直しは行わない。

議員 まず計画ありきで、後からその裏付けのために調査をするのではなく、どのようなニーズがあるか調査を行うことから計画案を決定するべきだ。

## 父子手帳の発行に 取り組んではどうか 「担当課と協議し研究していく」

竹内 正明 議員

### 育児



議員 本年3月に策定された第四次戸田市男女共同参画計画(改訂版)の重点課題に「男性の家事・育児への参加推進」とある。全国で広がっている「父子手帳」発行の取り組みは、父親の育児参加促進に効果がある。本市でも実施してはどうか。



▶「パパ必見!簡単!!育児のヒントイクメンの素(もと)」から抜粋(提供:埼玉県福祉部少子政策課)

市民生活部長 出産や育児においては父親の協力は不可欠であり、父親への意識啓発を図るツールとして「父子手帳」の取り組みは承知している。市では男性を対象とした子育てに関する講座など、さまざまな事業を行っている。それらの事業との整合性を図りながら、総合的に判断していく。

議員 男女共同参画を

進めるため、市独自の父子手帳の取り組みについて、「どう考えるか。」

市民生活部長 少子高齢化が進む中、男女ともに子育てをしながら働き続けることができ環境整備が重要である。子育てをする世代が多い本市としては、男性が積極的に家事や育児をしていただけると、さまざまな支援を行うっていく必要があると認識している。今

後、担当課と協議の上、研究していく。

自治体クラウド  
推進を

議員 本市の業務システムについて、経費削減等のために、さらにクラウドへの移行を進めてはどうか。

総務部長 今後も技術動向に注視しながら、積極的なクラウドの活用を進めていく。

## 健康づくり支援

### ポイント事業の取り組みの詳細は 「市民と一緒に盛り上げていきたい」

石川 清明 議員



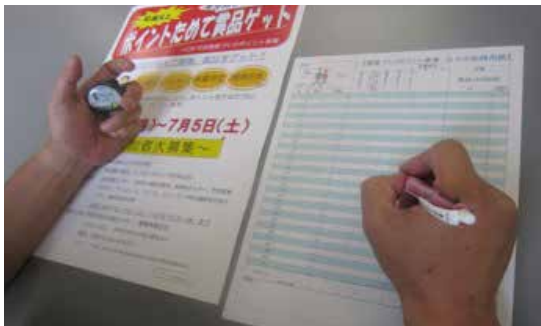
議員 健康づくりポイント事業の取り組みの詳細を伺う。

福祉部長 今回導入す

る健康づくりポイント事業は、健康づくりの大切さをわかっているも、まだ取り組めていない40歳以上の市民を対象に、賞品獲得というきっかけから健康づくりに取り組んでもら

い、習慣化することを目的に実施する。申し込み期間は6月2日から7月5日までで、現在申し込み受け付け中。広報・ホームページ・フェイスブックに掲載、その他町会の掲示板などで周知していく。また、がん検診の個別通知封筒にPRを印刷し、国民健康保険加入者の特定健診通知にもPRのチラシを同封している。

取り組み期間は7月



▶健康づくりポイント事業「ポイントためて賞品ゲット!」

15日から10月15日までの3カ月間。ポイントは、毎日の体重測定値や5つの目標と、自分で設定した目標の取り組みで加算される。また、がん検診や特定健診を受診した場合も加算される。ポイントの記録は自己申告制で、終了後、記録用紙を提出した人は参加賞を、さらに500ポイントを達成した人には、抽選会を実施し、賞品をプレゼントする。市職

員にも参加を促し、市民と一緒に本市の健康づくりを盛り上げていきたい。

その他の質問

Q 軽度要介護者の自立支援の取り組み。

A 軽度の方は重度化の予防対策が重要。今後、地域のボランティアなども活用したさまざまな場を整備していきたい。